第２回全国高専同窓会連合会総会議事録

日　時：平成２９年１１月１８日（土）　１１：００～１２：３０
場　所：東京　お茶の水ホテルジュラク　白鳥の間
参加者：１０高専同窓会
オブザーバー参加　３高専同窓会
参加人数　１７名

１、開会挨拶

開会に当たり事務局の佐世保高専同窓会幹事・朝永より、これまでの経過と活動報告を交えて挨拶。

２、参加同窓会紹介

参加同窓会並びに参加者の自己紹介。

３、議事

①　活動報告　（事務局）

・会の会費管理のために口座開設と印鑑の作製
・機構からの「高専フォーラム」への参加打診と対応
・副会長の小山高専同窓会・高野清会長ご逝去に際して弔電発信
等の報告

②　新規加盟同窓会の承認

・大分高専同窓会明愛会からの加盟申請について承認

③　役員人事

・小山高専高野会長のご逝去により空席になった副会長に大分高専の青木顧問をあてることを承認

④　今後の活動についての協議

富山高専石山会長よりの基調的な提案をもとに協議を始め、多くの方から活発な問題提起と今後の活動方針についての発言があり、意見交換がされた。その結果、次の点を確認し決定した。

ア，高専制度についてカリキュラムの変更や再編などが一部で進められ、高等教育機関としての将来像の検討も始まっているが、その問題点などを検証して提言できるような学習会や各機関との連絡協議会などを企図する。

イ，高専の独自性を持った方向性を明確に把握し、会員が共通した認識を持つための活動を企図する。

ウ，他の高等学校や専門学校との違いが一般にはよく認識されていない現実が

あり、大学と並ぶ高等教育機関としての高専制度の発足時の精神に立ち返れば「高等専門学校」ではなく「高専」という名称に統一することが望ましい。

エ，商船高専や電波高専など成り立ちや性格の異なる高専もあり、今後の存続に関する提言ができる体制を作る。

オ、上記の活動を具体化するにあたっては法的根拠に関しての知識が不可欠なので、高専制度に関わる法律の学習会を企画する。

カ、早急に役員会を開催して、高専機構や高専制度に関する国会議員連盟などとの連絡体制を作る。

キ、全国高専フォーラムへの対応や全国高専同窓会員の交流大会などに関しては活動計画の中で検討する。

⑤年会費の納入

連合会の年会費は、平成２９年１０月１日～平成３０年９月３０日の会計年度の分として各高専同窓会ごとに１０，０００円を会の預金口座に振り込むものとする。

４、閉会挨拶

以上

参加同窓会

苫小牧高専同窓会・樽前会　（東京高専同窓会）　富山高専同窓会・ほんごう会　石川高専同窓会
福井高専同窓会・進和会　（米子高専同窓会）　広島商船高専校友会　阿南高専悠久同窓会
高知高専校友会　（有明高専同窓会・有友倶楽部）　北九州高専同窓会　佐世保高専同窓会
大分高専同窓会・明愛会

・（　）はオブザーバー参加

連合会会員同窓会

旭川高専同窓会　小山高専同窓会　富山高専同窓会・ほんごう会　石川高専同窓会
福井高専同窓会・進和会　広島商船高専校友会　徳山高専同窓会・高城会
宇部高専同窓会・宇部常盤会　高知高専校友会　北九州高専同窓会　佐世保高専同窓会
大分高専同窓会・明愛会